

沖縄県内の主要構造物



伊良部大橋



於茂登トンネル



池間大橋



豊見城トンネル

(1) 橋梁延長ベスト10

順位	路線名	橋梁名	橋長	完成年度	場所	備考
1	平良下地島空港線	伊良部大橋	3,540	H26	宮古島市	県
2	古平利根屋敷地線	古宇利(こうり)大橋	1,980	H16	今帰仁村・名護市	県
3	末間大橋線	末間(くりま)大橋	1,690	H6	宮古島市	宮古島市
4	国道506号	豊見城(とみぐすく)高架橋	1,658	H19	豊見城市	国
5	国道331号	与根(よね)高架橋	1,589	H17	豊見城市	国
6	池間大浦線	池間大橋	1,425	H3	宮古島市	県
7	那覇南風見線 池高(けい)線	泊大橋	1,118	S61	那覇市	那覇市 那覇市 那覇市
8	国道506号	喜屋武(きやん)高架橋	1,092	H12	南風原町	国
9	国道506号	宮城(みやぎ)高架橋	1,074	H10	南風原町	国
10	国道331号	糸満(いとまん)高架橋	931	H24	糸満市	国

(2) トンネル 延長ベスト10

順位	路線名	トンネル名	延長(m)	完成年度	場所	備考
1	国道58号	名護大北(なごおおきた)トンネル	1,976	H19	名護市	国
2	国道506号	豊見城(とみぐすく)トンネル	1,424	H18	豊見城市	国
3	富野大川線	於茂登(おもと)トンネル	1,174	S61	石垣市	県
4	国道58号	幸地又(こうちまた)トンネル	1,170	H22	名護市	国
5	国道58号	那覇うみそらトンネル	1,141	H23	那覇市	国・那覇市 那覇市 那覇市
6	国道58号	宜名真(ぎなま)トンネル	1,045	S56	国頭村	国
7	白浜南風見線	西表(いりおもて)トンネル	675	H4	竹富町	県
8	国道58号	宇嘉(うか)トンネル	584	H23	国頭村	国
9	国道58号	新与那(しんよな)トンネル	559	H5	国頭村	国
#	真地久茂地線	隠名(しきな)トンネル	559	H22	那覇市	県
10	屋嘉恩納線	屋嘉(やか)トンネル	524	H元	金武町	県

やんばるの道は気をつけて走ろう



県道2号線のアンダーパス

本島北部のやんばる地域は、亜熱帯の森林が広がり、ヤンバルクイナ等の多くの固有種が生息していますが、その稀少動物が路上へ出現し、交通事故にあっています。

沖縄県では、小動物が路上を通らず道路を横断するために道路下にアンダーパスの整備を行っています。

また小動物が落下しても脱出できる勾配側溝や階段付きマス等の整備も行っています。

交通事故を防ぐためには、自動車のスピードをおさえるのがもっとも効果的です。やんばるの道は、ゆっくり余裕をもって走りましょう。ドライバーの皆さん一人ひとりの、やさしい心づかいをお願いします。

日本風景街道
～シーニック・バイウェイ・ジャパン～

詳しくは…

日本風景街道は、全国各地の道を舞台とした様々な活動に対してできる限り門戸を広げることにより多種多様な風景街道を実現し、また、日本風景街道を国民的な運動として全国に展開することを目的に2007年9月より風景街道を公募することとなりました。沖縄地区についても現在北部、南部のパートナーシップが活動しております。

沖縄地方風景街道協議会 事務局
住所: 〒900-0006 沖縄県おもろまち2丁目1番1号 那覇第2地方合同庁舎2号館
担当: 沖縄総合事務局 道路建設課 道路整備係
TEL: 098-866-1914(直通) FAX: 098-861-9928 お問い合わせ受付時間: 平日 9:00～17:00
E-mail: dourokensetsuka@ogb.cao.go.jp
<http://www.dc.ogb.go.jp/road/ir/fukei/index.html>

琉球王国のグスク及び関連遺産群



④ 中城城跡

(なかぐすくじょうあと)



阿麻和利(あまわり)を牽制するために、座喜味城主であった護佐丸が国王の命により移り住んだ城で、琉球王国の王権が安定していく過程で重要な役割を果たした。史跡に指定されている。

⑦ 玉陵

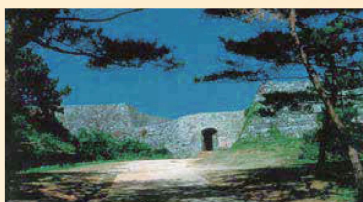
(たまうどうん)



第二尚氏王統第3代王の尚真(在位1477～1526)によって築かれた第二尚氏王統の陵墓。近世日本の琉球地方において確立した、独自の石造記念建造物のデザインを示す貴重な事例である。重要文化財と史跡に指定されている。

② 座喜味城跡

(ざきみじょうあと)



1420年代に有力な按司であった護佐丸によって築かれた城。北山が滅びた後にその旧勢力を見張る目的で造営され、琉球王国成立の初期に国家権力の安定に重要な役割を果たした。史跡に指定されている。

⑤ 首里城跡

(しゅりじょうあと)



首里城は、三山時代は中山国王の居城であったが、1429年の琉球王国統一後は1879年に至るまで、琉球国王の居城として王国の政治・外交・文化の中心的役割を果たした。史跡に指定されている。

⑧ 識名園

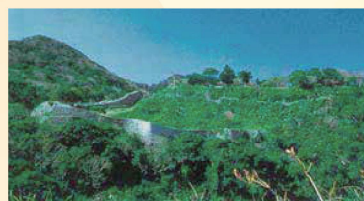
(しきなえん)



1799年に造営された王家の別邸の庭園。王族の保養の場として使われただけでなく、中国皇帝の使者である冊封使を接待する場としても使われ、王府の外交面において重要な役割を果たした。識名園は、近世日本の琉球地方において確立した独自の庭園デザインを示す貴重な事例である。特別名勝に指定されている。

① 今帰仁城跡

(なきじんじょうあと)



琉球に統一王朝が樹立(1429年)される直前の三山時代(北山、中山、南山)の北山を治めた王国の居城。1416年に北山が中山によって滅ぼされた後には、琉球王府から派遣された北山監守の居城となった。史跡に指定されている。

③ 勝連城跡

(かつれんじょうあと)



琉球王国の王権が安定していく過程で、国王に最後まで抵抗した有力按司、阿麻和利(あまわり)の居城。阿麻和利は、1458年に国王の重臣で中城城に居城した護佐丸を滅ぼし、さらに王権の奪取をめざして国王の居城である首里城を攻めたが大失敗して滅びた。これにより首里城を中心とする中山の王権は安定した。史跡に指定されている。

⑥ 園比屋武御嶽石門

(すぬひやんうたきいしもん)



園比屋武御嶽石門は、第二尚氏王統第3代王の尚真(在位1477～1526)によって創建された石門で、門の背後の樹林地は園比屋武御嶽と呼ばれる聖域となっている。門は重要文化財に、門とその敷地は史跡「首里城跡」の一部である。

⑨ 斎場御嶽

(せーふあうたき)



第二尚氏王統第3代王の尚真(1477～1526)が整備した国家的な宗教組織との関係が深い格式の高い御嶽で、中央集権的な王権を信仰面、精神面から支える国家的な祭祀の場として重要な役割を果たした。斎場御嶽は、琉球地方に確立された独自の自然観に基づく信仰形態を表す顕著な事例である。史跡に指定されている。



2024年 沖縄県の道路

監修 発行 沖縄県土木建築部